

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターおひさま		
○保護者評価実施期間	7年 1月 4日		7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	7年 2月 3日		7年 2月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	7年 2月 3日		7年 2月 19日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○事業者向け自己評価表作成日	7年 2月 19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員として、保育士を配置し 保護者やお子さんのニーズに応じて訪問支援を行い、 困りごとがスムーズに解決できる体制である。	保護者のニーズをしっかりと把握し、訪問先の保育園等とこどもの支援 方法を中心に情報共有しています。 先生方の困り事を真摯に聞き、適切なアドバイスが出来るよう にしています。多職種連携で訪問支援員の保育士、児童発達支援管理 責任者など様々な角度から利用児を観察できる体制を図っています。	訪問時の様子をしっかりと保護者と共有し、保護者と保育園等の関 係がより深まるよう努めています。 訪問支援員が訪問後に他の職員と一緒にミーティングを行っていま す。それぞれの状況などを伝え合うことで、全職員が訪問支援 としての現状の課題を把握することができていると感じます。引き 続き取り組んでいきたいと思ひます。
2	保育園に通っている方が利用されるケースが多く、利用児の様子を把 握しやすい、保護者との連携が取りやすい、また他の職員からのアド バイスも参考にできるので、保育所等訪問支援がスムーズに進められ ている。	契約にあたっては、当事業所の児童発達支援を利用されている方が利 用されています。保護者の仕事の都合上、訪問支援後に連絡がつきに くい保護者の方もいらっしゃいますが、前もって休憩時間を把握して いますので、その時間に合わせて連絡をさせていただいています。	お仕事をされている保護者との連携の取り方などについては十分に 検討していかなければならないと感じています。 保護者のニーズにお応えできるように取り組んでまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	日常的な連携が図られており、教育の文化の中での助言についても、 一緒に考えていくスタンスでの訪問を心がけています。	初回の訪問時には訪問先施設からしっかりと聞き取らなければならない 情報も多く、訪問支援員の聞き取り、説明の大切さを感じています。 教育の面においては、教員の先生方の方針から学ばせていただき、行 動観察・環境面への配慮については、ご提案させていただき、一緒に 考えていく協働の方針をとらせていただいています。	分かりやすく、また説明しやすいパンフレット(資料)を改 良していきます。 保育所等訪問支援を初めて受け入れる訪問先施設と一緒に外向き、 事業の内容に十分な理解を得られるよう、説明をしてもらうことも 協働支援の一つと考えます。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センターおひさま

公表日 令和7年2月21日

利用児童数 令和7年1月4日 3名

回収数 3名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	3					
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	3					
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	3					
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	3				前月に連絡がきて、日程調整しています。	今後も、訪問先の事業計画に沿うよう配慮しながら日程調整していきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	3					
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3				こどもに合った支援をしていただいています。	今後も、こどもと保護者に寄り添う計画書を作成していきます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	2			1		今後も訪問先施設の職員からの意向を聞いた上で計画書の作成につなげていきます。また訪問先の意向も保護者に伝えます。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3				困りごとに対して、訪問して頂き返答があります。	今後も訪問先施設にも計画書を渡し、共通理解したうえで支援を行っていきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	3					
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				説明を受けています。	今後も、丁寧な説明を行えるよう努めていきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	2			1		今年度もペアレントプログラムを開催し、子育てが楽しくすすんでいくことが出来るように、共に考えこどもの育ちの姿の見方を学びました。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていますか。	3					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3				面談時におひさまの様子を詳しく教えて下さります。	引き続き定期的に面談を行いながら支援を進めていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3				笑顔で対応して下さいます。	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3				相談するとすぐに対応して下さいます。	今後も体制の整備を行い、家族からの相談に対して、丁寧に対応し、迅速かつ適切に関係機関と連携していきます。
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3						

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2			1	しているとは思いますが、直接聞いたことはないです。 園の先生がおひさまを訪問し、保育園担任、おひさま、保護者と連携をとらせていただきました。	個別支援計画に沿って課題などについても共有し、引き続き助言・支援を行っていきます。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	3					
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	3				訪問が終わると、その日のうちに連絡が来ます。具体的に園での様子を教えてください。	引き続き訪問実施後には、必ず保護者と面談を行い、こどもの様子や支援について報告します。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3					
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3				できていると思います。	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3				保育園と合同で避難訓練に参加しました。	今後も訪問先の訓練にも参加するなどし、緊急時の対応についても的確に対応できるようにします。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	3				職員の方が来たと嬉しそうに話をします。	ありがとうございます。更に丁寧に喜ばれる支援を重ねて参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	3				大変満足しています。 相談事にものってくださり感謝しています。	引き続き支援を行った内容を正確に伝え、こどもの成長と一緒に喜びながら次への支援へと繋がります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和7年2月21日

児童発達支援センターおひさま

令和7年2月3日 回答数2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	2			<ul style="list-style-type: none"> ・保育園とは違った姿を教えてもらえるので新たな言葉のかけ方ができています。 ・園訪問に来て下さった時の助言を園でも参考にさせていただいています。 	
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	2			<ul style="list-style-type: none"> ・体幹への意識を高めさせてもらっています。 ・自園ではでない方法を知る事ができ助かっています。 	
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	2			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育の中で常に試行錯誤しているので助かっています。 ・いつもこちらの相談を聞いて下さり助かっています。 	
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2			<ul style="list-style-type: none"> ・おひさまでの取り組みを聞けるのでとても参考になっています。 ・施設訪問をさせていただいたこともあり、園でも取り入れようと思うところがあり勉強になりました。 	
5	事業所からの支援に満足していますか。	2			<ul style="list-style-type: none"> ・今の成長段階を見ながら、先を見通せるので参考になっています。 ・いつも丁寧に対応してくださりありがとうございます。 	
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援では、日常の姿をみてもらえるので、状況が伝わりやすく話がしやすいので助かっています。今後もよろしくお願いします。 ・いつも相談、訪問など対応して頂きありがとうございます。これからも連携をとれていけたら嬉しいです。宜しくお願いします。 					<p>保護者のニーズをしっかりと把握し、訪問先の保育園等とこどもの支援方法を中心に情報共有しています。</p> <p>先生方の困り事を真摯にお聞きし、適切なアドバイスが出来るようにしています。多職種連携で訪問支援員の保育士、児童発達支援管理責任者など様々な角度から利用児を観察できる体制を今後も図っています。</p>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターおひさま		公表日 令和7年2月21日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		事前に準備を行っています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		適切に運営しております必要があればその都度対処していきます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		広く関係職員参加の下で、定期的に支援計画作成時の会議を行い、都度の振り返りを含め、会議や事例検討会議を行っています。今後も、支援の情報共有をし統一した支援ができるように努めていきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		頂いた評価をもとに業務改善の話し合いを行っています。今後さらなる評価シート作成と共に保護者等の意向を把握していきます。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		その都度情報共有を行っています。職員会議や個別面談を通して意見を把握し、今後の支援につなげ改善に努めています。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		第三者の意見を広く受け入れ支援に活かせるよう取り組んでいます。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年間事業計画に職員研修計画を定め、法人内研修や外部研修への参加を行えています。スキルアップ研修にも積極的に参加できる体制作りをしています。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		障害児支援利用計画をもとに、こどもと保護者からアセスメントを行い、訪問先の職員と共に保育所等訪問支援計画を策定しています。今後も、利用児のニーズに沿った個別の保育所等訪問支援計画を作成していきます。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		利用児の支援に関わる職員が共通理解の下でこどもの特性を理解し、計画に沿った支援を心掛けています。今後も、多角的な視点で一人ひとりにあった支援内容を計画していきます。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○		こどもと家族のニーズを把握し、アセスメントを実施して訪問先施設の意向や理念、こどもの訪問先施設での生活の様子などを担当者との連携を図り、事前の打ち合わせの電話連絡や訪問時に話し合いの時間を設け、意向を盛り込む様にしています。今後も訪問先の状況も理解したうえで対応していきます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		保育所等訪問支援計画が職員間に共有されています。合理的な配慮を含めた支援内容となっております。今後もニーズに合った支援を心掛けていきます。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		こどもの障がい特性に適合する標準化されたツールで、特性を踏まえながら個々に合わせた評価を行い、日々の行動観察による分析、こころの育ちについてもみていけるよう取り組んでいます。アセスメントツールを正確に使用し、なお一層こどもの特性を把握していきます。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○		こどもの支援、ご家族の支援、地域生活の支援を項目としてあげて、支援内容を設定しています。こども本人が将来日常生活や社会生活を円滑に営めるように、安心の関りが繋がっていきけるよう、こどもを取り巻く方々と共有してまいります。日々の支援内容や個々の目的を職員間で共有するため、ガイドラインの周知を今後も図っていきます。	
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援会議を元に、支援計画の作成を行い、実践しています。今後も全職員が支援計画に沿った支援を行っていきます。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前には職員間で必ず打合せを行っています。今後も、支援の情報共有をし統一した支援ができるように努めていきます。	

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後にもその都度情報共有を行っています。今後の支援へ繋げています。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○		訪問先の理念や、意向、職員の思いなどを十分にお聞きするようにし、尊重した上で、支援の協力をいただくようになっています。訪問先の方針に沿って参加させていただき、こどもの願いを訪問先職員と一緒に考える姿勢で臨んでいます。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		報告書を作成し、保護者と訪問先施設に確認いただき、共有するようにしています。今後も支援内容や気づいたことを記録に残していきます。	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行っています。今後も定期的な見直しを行い、支援に繋げていきます。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		訪問支援員（保育士）や児童発達支援管理責任者が参加し、現状や方向性を報告をしています。よりこどもの状況を理解していける場を今後も作ります。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		こども総合療育センター、障害福祉課、保育教育等こどもの育ちに関する方々との連携を図っております。今後難しい課題については、日々の記録やミーティングなどを活用して、連携についての共有を図っていききたいと思います	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		可能な限り、就学までのサポートをするようになっています。今後も就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていきます	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		質の向上を図るため、専門機関等に助言をいただいたり、外部研修に職員が参加しています。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		法人職員が自立支援協議会、子ども部会・児童発達支援センター会議、子育て支援ネットワーク会議に積極的に参加しております。地域のニーズについて意見を述べるよう取り組みを行っています。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		施設訪問時やモニタリング時、日頃の家族面談時に双方にこどもの成長について、ちょっとしたことも共通認識できるようにしています。また、療育内容や様子などもご家族に理解しやすい説明を心がけています。	
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		毎年度ペアレントプログラムを実施し、子育ての楽しさや、保護者同士の仲間づくり、リラクスタイムの提供と、研修を行っています。		
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時や内容変更時に直接ご説明をしています。いつでも確認していただけるよう提示、閲覧も準備してあります。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○		保育所等訪問支援の利用を初めて受ける訪問先施設には、より丁寧に伝えています。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		こどもと保護者からアセスメントを行い、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて意向を確認した上で支援計画を作成しています。今後も、利用者のニーズに沿った個別の支援計画を作成していきます。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○		保護者に分かりやすく説明を行い、同意を受け交付しております。今後も具体的にわかりやすくお伝えるようにします。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		訪問時や支援計画のモニタリング時などで話を伺い、助言や支援を行っています。ご家庭からも「詳しく教えてください」と評価を頂いております。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		児童発達支援の活動と合わせて、家族やきょうだいの交流が出来るよう定期的に家族会を実施し、一緒に遊び、楽しい時間や交流を目的として「えんにちごっこ」や「安全教室」の実施等を行っています。	家族会として実施していますが、父母の会結成にまでは至っておりません。保護者同士での情報共有が行えるように今後も計画していきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		申し入れに対して、担当者や責任者を中心とした体制づくりをしています。それをもとに対処や、ご家族、関係機関への周知を行っています。	

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		日々の連絡帳の活用や法人ホームページを活用して発信しています。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規定を基に慎重に取り扱っています。情報の使用については、ご家族へ同意書を取り、随時確認しながら行っています。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		十分な配慮ができるようにこころがけ、口頭だけではなく、文章や絵、サインを活用し意思の尊重に取り組んでいます。	
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○		申し入れに対して、担当者や責任者を中心とした体制づくりをしています。それをもとに対応や、ご家族、関係機関への周知を行っています。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○		切れ目のない支援を心掛けています。今後も定期的に連絡をとり、その都度支援内容について話し合う機会をつくっていきます。	
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		訪問後にどのような支援方法をお伝えしたか、利用児の様子などを報告しています。今後も支援内容を具体的にわかりやすく伝えていきます。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		法人の個人情報保護規定を基に、十分に気を付けて取り扱いをしています。訪問先施設への説明においてもその旨を説明しています。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○		訪問時や支援計画のモニタリング時などで情報共有の時間を取り、話を伺い助言や支援を行っています。日々の生活の事や行動観察などから見えてくることについて双方に話し合い、一緒に考え取り組みを実施しています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの随時更新を行っています。 マニュアルをもとに、災害訓練等の実施や災害等を想定した話し合いを行っています。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		施設設備等の安全点検、施設外活動等を含む活動、取組等における職員や利用児に対する安全確保のための指導を行っています。今後も利用児の安全確保に関する取組についての年間スケジュール（安全計画）を定めていきます。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットを事業所内でその都度共有し、再発防止に向けた話し合いを行っています。 年度を振り返り、第三者委員と共に法人内での報告及び研修会を実施して、事業所内で共有しています。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		研修の開催や、マニュアル、必要書類等の調整を行っています。来年度はeラーニングを導入し、映像や資料を基に事業所内でより理解が進むよう取り組んでいきます。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		法人内研修において、話し合いや勉強会を行い、対応の検討を行っています。 契約時に説明をしていますが該当者はいません。	